

2023年度 期中評価（投資計画）について

2024年10月7日
沖縄電力株式会社

01 送電・変電設備の投資量達成状況

1. 送電・変電設備の投資量達成状況

- 送電・変電設備の投資量は遮断器のみ計画達成となりました。
- 計画未達の主な要因は計画時点では予見できなかった半導体不足による変電機器の納期遅延、掘削工事において発見された不発弾処理の発生、用地交渉難航等から工期を繰り越したことによるものです。
- 当社としましては、これら要因に対して、工事に先立ち現地調査等を行い、必要となる物品、資機材等の調査、設備の停止日数、電工稼働数等を検討し、資材等の早期手配および停止調整等を行い第1規制期間の計画を達成できるよう取り組んでまいります。
- なお、送電設備の繰り越し要因は変電工事の工期繰り越しによるものが多数を占めております。

主要設備	単位	2023年度投資量（竣工ベース）				主な要因
		①提出	②実績	乖離 (②-①)	達成率 (②/①)	
鉄塔	基	4	-	▲4	0%	<ul style="list-style-type: none"> ● 移設先の用地交渉が難航していることから運開年度を延伸したことによる減（▲3基） ● 関連工事（変電設備）の工期変更に伴い変電所へ引き込む送電工事工程を見直し、運開年度を延伸したことによる減（▲1基）
架空送電線	km	11.5	3.7	▲7.8	32%	<ul style="list-style-type: none"> ● 移設先の用地交渉が難航していることから運開年度を延伸したことによる減（▲7.6km） ● 関連工事（変電設備）の工期変更に伴い変電所へ引き込む送電工事工程を見直し、運開年度を延伸したことによる減（▲0.2km）
地中ケーブル	km	10.2	0.1	▲10.1	1%	<ul style="list-style-type: none"> ● 関連工事（変電設備）の工期変更に伴い変電所へ引き込む送電工事工程および停止工程について工程を見直し、運開年度を延伸したことによる減（▲10.1km）
変圧器	台	16	6	▲10	38%	<ul style="list-style-type: none"> ● 半導体不足の影響から変電機器の納期遅延による乖離（▲3台） ● 掘削工事の際に発見された不発弾処理に伴う工期繰越し（▲2台） ● 土留工法の変更検討に時間を要したことによる工期繰越しに伴う乖離（▲2台） ● 本工事に関連する除却予定の建屋よりアスベストが検出されたことによる、除却工事の遅延に伴う工期繰越し（▲2台） ● 関連工事（配電設備）の遅延による工期繰越し（▲1台）

2. 変圧器工事における繰越事例

- 工期の長期化に伴い投資量の乖離が発生している個別件名として、「壺川変電所増設工事」の計画変更に関する事例を紹介します。
- 当該工事は、変圧器更新と合わせて変電所建屋も更新する工事となっておりますが、2023年2月に**新建屋基礎工事中に不発弾が発見され、不発弾を処理するため、現場休工となり変電所建屋の完成が遅れ、変圧器工事の竣工が2024年度に繰越となりました。**

工事概要	
変圧器	2台⇒0台 ※2024年度に繰越
その他投資	変電所建屋 ※変圧器更新と合わせて建屋更新
工期(計画)	2022年9月～ 2024年3月
工期(実績)	2022年9月～ 2024年7月



警察官による不発弾立合状況

02 変電設備の実施状況

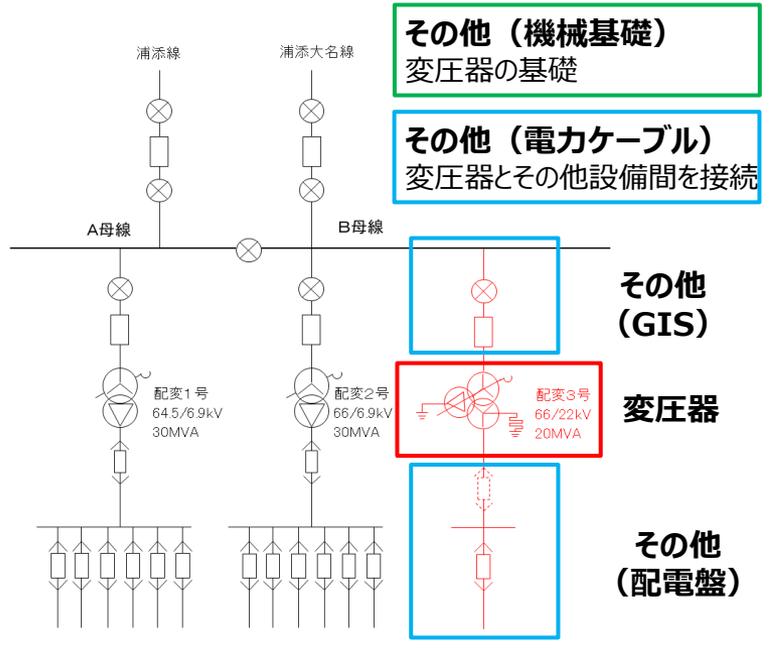
1. 浦添変電所増設工事について（概要）

2023年度に実施した工事件名のうち、効率化およびエスカレの影響から単価変動が生じた「浦添変電所増設工事」について説明させていただきます。

【工事概要】

- 需要家への供給のため、当該変電所に変圧器（66/22kV）を設置する工事となります。
- 変圧器の更新工事ではなく増設工事であり、**主要設備（変圧器）よりもその他設備（GIS、配電盤、電力ケーブル、機械基礎）**工事が大宗を占めております。

工事概要図



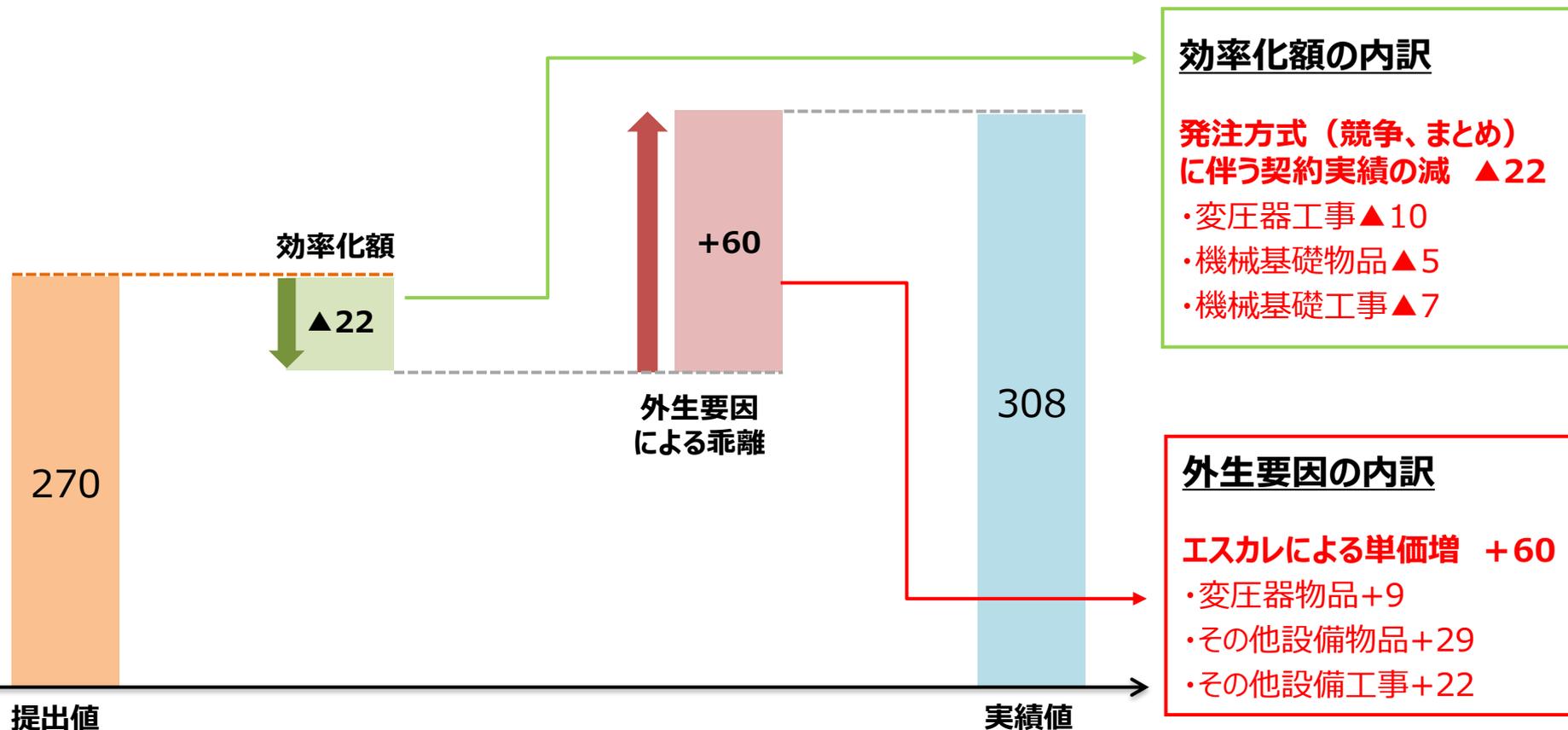
設備種	数量		工事費 (百万円)		物品費 (百万円)		計 (百万円)	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
変圧器	1台	1台	24	14	57	66	81	80
その他 変電機器	1式	1式	28	50	101	130	129	180
その他 機械基礎	1式	1式	44	37	16	11	60	48
計	-	-	96	101	174	207	270	308

2. 浦添変電所増設工事の計画実績差について（概要）

【主な計画実績差】

- 本工事は、主要設備（変圧器）よりもその他設備（GIS、配電盤、電力ケーブル、機械基礎）工事が大宗を占める工事であり、**主な計画実績差はその他設備の効率化及び外生要因（エスカレ）によるものとなっております。**

（単位：百万円）



【効率化施策について】計▲22百万円

- 以下の物品および工事について、発注方式により効率化を図りました。

①その他設備（機械基礎）物品および工事について、発注方式（競争発注）により実績減
▲12百万円

②変圧器工事について、発注方式（まとめ発注※）により実績減
※別件名の変圧器工事と複数台まとめて発注

▲10百万円

【外生要因（エスカレによる増）について】計+60百万円※

- 以下の物品および工事について、市況変動の影響等により単価増となりました。
- これらの影響については、事業者の努力では如何ともし難いものであります。

①変圧器物品 +9百万円

②その他設備物品（GIS、配電盤、電力ケーブル） +29百万円

③その他設備工事（GIS、配電盤、電力ケーブル） +22百万円

※エスカレ影響額：実績（契約額）－ 計画（提出値）